



2017-18年度R.I.テーマ

ロータリー：変化をもたらす



第2714回 例会

2017.12.14

会長あいさつ



2017-2018年度 藤村 作 会長

週報 No.2072
発行 2017年12月21日
会長 藤村 作
幹事 須田 悦正
副会長 樋口 雅之
副幹事 宇多村海晃
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 野瀬 将正

行事予定

- 12月28日 休会
- 1月5日 新春賀詞交歓会 (例会場・時間変更)
- 1月11日 卓話 55周年に向けて 武重秀雄パスト会長 岡野晴光パスト会長
- 1月18日 上期中間報告 (事業・会計)
- 1月25日 新年例会 (例会場・時間変更)

皆さんこんにちは、本日も例会出席いただきありがとうございます。今週一週間の報告をします。前回の例会後夜に恵比寿亭にて55周年実行委員会が開催されました。かなり内容が煮詰まってきました。今後、各委員から皆さんにお願いすることが出てくると思いますのでよろしくお願ひします。

今月は疾病予防と治療期間ということで先週は藤村病院からリョウ先生に来て頂き帯状疱疹についてお話頂きました。先々週は会長挨拶でインフルエンザについてお話したと思います。今週は3部作の最後にノロウイルス胃腸炎についてお話したいと思います。下痢、嘔吐、発熱が症状の疾患ですが、ウイルスが原因の病気の中でも帯状疱疹やインフルエンザは予防接種や治療薬がありますがノロはこのどちらもありません。ですから厄介です。いわゆる食中毒は夏に多いですがノロウイルスの腸炎は主に冬です。ほかの腸炎をおこす菌やウイルスは寒さに弱い特徴がありますがノロは低温でも生き延びます。また加熱しても60度くらいまでは死にません。また、少量のウイルスで感染し一気にウイルス量が増えるのが特徴です。感染すると約1ヶ月は便にウイルスが排泄されるため2次感染のリスクが高い病気です。また、感染後潜伏期間が18~48時間ありその間に周囲に広がる可能性が高くなります。感染経路としては接触感染、飛沫感染、経口感染(カキなどの2枚貝、汚染された食器)です。どこからでも移ります。ただ、症状は2、3日で自然に良くなります。ただ先ほども言った通り約一か月はウイルスを輩出するので他人にうつさないように注意し約一か月は吐いたものの処理：塩素系消毒薬を使ってふき取る。ふき取って乾燥した状態でもウイルスは多少残っているので飛沫感染に注意してください。なったらすること：十分な休息、睡眠・水分補給・消化のよい食事になります。では皆さんこの冬はインフルエンザ、帯状疱疹、ノロウイルス胃腸炎の3大ウイルス感染に注意してロータリーライフを楽しんで下さい。来週はクリスマス例会です。皆さん飲みすぎて寒い夜空の中を歩き回らないようにしましょう。本日は結婚誕生と春日さんのハノイ報告です。宜しくお願いします。

幹事報告

須田 悦正 幹事

◇上尾メディックス応援ツアーの案内がきています。1月13日と14日に日帰りで行われます。西口駐車場から11時に出発し、夕方4時頃に帰ってくるスケジュールです。希望者は私までご連絡ください。



委員長報告

ロータリー財団委員会 久保田 勲委員長

本日付けで大木パスト会長から1,000ドルの寄付を頂き、クラブの目標を100%達成いたしました。皆様のご協力、ありがとうございます。



結婚・誕生祝い

お誕生日 おめでとうございます!



井上 清 会員

90歳の誕生日を迎えました。なんとか100歳まで生きたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

例会主題

国際奉仕プロジェクト フィリピン・ベトナム視察報告

地区国際奉仕部門 大木保司部門委員長

10月22日から25日までマニラに行ってきました。9チーム・15クラブが参加し視察をしてお金を現地に渡してきました。3月に大貫ガバナーと一緒に検証ツアーに行く

予定になっています。

さて、今回のベトナムの経緯だけお話しすると、「今までとは別の国に国際奉仕を」という大貫ガバナーからのご指示で、上尾クラブの元米山記念奨学生で現在さいたま大空クラブにいる周京梅さんに「ベトナムに国際奉仕をしたいのだけれど、どなたか窓口はいませんか」と相談をしたところ、ちょうどハノイから東京に友人が来ているとのことで、ダンさんという方に面会しました。プロジェクトをお願いしたいということで、今年3月にハノイに行き、現地でまたダンさんに会い、今年の冬に実施ということでOKになりました。ダンさんは埼玉大学に通われた方で、日本の文科省の国費外国人留学生だったというたいへん優秀な方です。今回、ダンさんがベトナムですべて手配をしてくださり、お金も立て替えていただき、支援する方一人一人にプレゼントができるよう、家族や友人も総出で400個のパッケージを作ってくださいました。障がい者センターにも彼女が事務局も国際奉仕の手続きをしくれました。今回のプロジェクトの陰にはそういう方々の支えがあったことを知っていただきたいと思ひます。それでは春日さんの報告をお聞きいただければと思ひます。



ベトナム ハノイ国際奉仕PJ視察報告

春日 孝文 会員

スライドを100枚作ってきました。それでは報告させていただきます。

12月2日~5日までベトナムに行ってきました。参加者は当クラブからは藤村会長、樋口副会長、須田幹事、大木国際奉仕部門委員長、私、それと6クラブ(鴻巣、春日部西、さいたま新都心、川口シティ鳩ヶ谷、春日部イヴニング、越谷東)17名と通訳アンさん1名の合計23名です。

ベトナムの正式名称は「ベトナム社会主義共和国」、面積は331,210平方km、人口は約8,500万人、公用語はベトナム語です。平均寿命は75歳、70%が農業従事者です。道路事情ではバイクが非常に多く、ヘルメットもかぶらず家族4人で乗ってたりします。天候は、日本より通年で6~7度高く、私たちが行った12月の現地は22度で、日本のだいたい9~10月頃の気温でした。

おおまかな旅程は、1日目 ベトナム ハノイ。デューホテルへチェックイン、ウエルカムディナー。2日目は国立ハノイ小児病院視察、ホーチミン廟見学、ハノイ障がい者教育センター視察。3日目は陸&海のハロン湾見学。4日目 日本、羽田へ。という旅程です。

移動はバスに乗りました。到着して大木部門委員長から一言あり、ホテルへチェックインしました。ホテルからの景観では、街はとても発展している印象です。1日目の夜は全員で食事会をしました。

2日目、国立ハノイ小児病院を視察しました。とても大きな病院で驚きました。総ベッド数1,500床、1日外来患者数4,000名、小児外科年間手術数15,000例(うち3,000例が内視鏡手術)とのことでした。インターネットで検索したら、日本中の病気の子を一つの病院に集めて治療しているようだとか書かれていました。病院横の事務所の中で寄付金授与と調印式が行われました。また先ほど大木さんが仰ったダンさんが用意してくれた400個のお菓子のパッケージを持参しました。ベトナムには52民族があり、少数民族は自給自足の生活をしていて裕福ではないため、余計に高度医療を受けられない状況だそうです。不正発熱者、耳立腺癌の方、呼吸困難な方の3名が代表で来られて支援を受けられました。

寄付金を授与した後、事務所から病院に移動して、患者さんにお菓子のパッケージを渡しに行きました。行ったのは救急外来の入り口からで、日曜の午前でしたが、通路待合は一般外来的に混雑していました。私たちはまず神経科の病棟に行き、各々お菓子をもって病室を訪ねました。お菓子を貰ったお子さんは大喜びでした。それから伝統医学病棟(鍼治療が小児に行われている)にも行きました。

次にハノイ障がい者教育センターへ視察に訪ねました。ここはあまり衛生的によくない印象でした。この講堂に子どもたちが集まってもらい、お菓子やテレビなどを置いて記念撮影をしました。皆さんはとても喜んでくださいました。センターの先生にお話をいただいたのですが、1クラス9名で12クラスあり、そのうち3クラスは頭に障がいがあり、9クラスは耳に障がいがある子どもたちとの

ことでした。40名のスタッフと14名の先生が対応しているそうです。20歳まで在籍可能で、卒業後はバイクの整備士などになるそうです。

その後、ホーチミン廟に行きました。翌日3日目、5時間かけて海のアロン湾に行きました。船に乗って、鍾乳洞のある島に上陸しました。帰りは5時間かけました。そして夜は反省会をしました。

一緒に行った方々と仲良くなれて、ロータリーに入って海外にも行けるいろいろな職種の方々とコミュニケーションがとれて、機会を与えてくださった皆様にお礼を申し上げたいと思ひます。以上です。ありがとうございます。



スマイル

武重会員 今年も残り少なくなりました。
村岡会員 春日さん、大木さん、ご苦労様でした。
須田さん、無理をしないように。
大木会員 世界はあなたを待っている!

藤村会長/須田幹事/樋口副会長/宇多村副幹事/岡野会員/
大塚信郎会員/吉川会員/小林邦彦会員/齋藤重美会員/
井上会員/尾花会員/久保田会員/野瀬会員/長沼会員/
門崎会員/春日会員/芳賀会員/小田切会員

春日会員、卓話いただきありがとうございました

出席	会員数	37	出席数	22
欠席	欠席数	15	(%)	59.46
前々回確定	欠席数	5		
修正(%)		86.49	(M・U)	7

